

令和元年度 事業報告

1 概 要

「人生百年時代」を迎えた今日、高齢者がいきいきと活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが重要となっており、シルバー人材センターへの期待はますます大きくなっています。令和元年度は、これらの期待に応えていくため、「会員の拡大」と「就業機会の確保・開拓」の二つを重点に取り組んでまいりました。

「会員の拡大」については、今後、家事援助や育児支援などの就業需要増が見込まれますので、女性限定入会説明会など女性会員の拡大対策に取り組んだ結果、前年度より女性会員14名増、全体で16名増の238名となりました。

一方、「就業機会の確保・開拓」については、今年度も役職員が企業・施設を訪問し就業の確保・開拓に努めてきました。その結果、「請負事業」の契約金額は前年度並みの98,612千円となりましたが、「派遣事業」については調理補助業務や大型スーパー業務の減などにより、契約金額は前年度より1,914千円減の18,820千円（前年比90.8%）となりました。これらにより、請負と派遣の合計契約金額は117,432千円（前年比98.5%）で、前年より1,741千円の減となりました。

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大していますが、当センターの就業においても、製造業を中心に就業減の影響が生じ始めています。今後、県内にも感染拡大が懸念されますので、会員へ感染対策の注意喚起に努めてまいります。

今年度は傷害・損害事故が例年になく多く発生するという残念な状況となりました。「安全はすべてに優先する」ことを再認識し、安全対策講習会の実施など更なる安全対策を講じていきます。

今後の課題は、会員の平均年齢は72歳で年々上昇傾向にあり、特に草取り班の後継者育成が喫緊の課題となっています。シルバー人材センターを取り巻く環境は年々厳しくなっていますが、今後も会員・役職員がワンチームとなって地域社会の期待に応えられるよう努めてまいります。

以下、主な事業実施状況について報告します。

2 事業実施状況

(1) 就業機会の確保・開拓

① 請負事業

受注件数は前年より101件の減となりましたが、契約金額については前年度並みの98,612千円となりました。

事業実績（請負）

年度	会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
H30	222 人	213 人	1,407 件	98,439 千円	24,182 人日
R1	238 人	224 人	1,306 件	98,612 千円	24,430 人日
比較	16 人	11 人	△101 件	173 千円	248 人日

② 派遣事業

請負事業で対応できない就業について、山形県シルバー人材センター連合会と連携しながら「派遣事業」で取り組みました。その結果、学童保育補助業務は増となりましたが、調理補助業務や大型スーパー業務などが減となり、契約金額は 18,820 千円（前年比 90.8%）で、前年より 1,914 千円の減となりました。

事業実績（派遣）

年度	登録会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
H30	35 人	29 人	20 件	20,734 千円	3,832 人日
R1	36 人	36 人	19 件	18,820 千円	3,380 人日
比較	1 人	7 人	△1 件	△1,914 千円	△452 人日

③ 全体（請負＋派遣）

請負と派遣の合計契約金額は、117,432 千円（前年比 98.5%）で前年より 1,741 千円の減となりました。

事業実績（請負＋派遣）

年度	会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
H30	222 人	213 人	1,427 件	119,173 千円	28,014 人日
R1	238 人	224 人	1,325 件	117,432 千円	27,810 人日
比較	16 人	11 人	△102 件	△1,741 千円	△204 人日

(2) 会員の拡大

シルバー人材センター事業の拡充を図り、そして地域社会の多様なニーズに応えていくためには、「会員の拡大」が重要となります。また、後継者育成のためにも会員役職員が一丸となり、次の活動を行って新会員の確保に努めました。

- 入会説明会（毎月第 1 水曜日）の実施
- 出張入会説明会（町内 6 地区）の実施（3 月）
- 女性限定入会説明会の実施（9 月）
- 会員一人ひとりによる友人や知人への勧誘活動
- 会員募集チラシの全戸配布（8 月）
- 女性委員会による町内大型スーパーでの会員募集チラシ配布（2 月）
- 広報「シルバー河北」を活用し、会員募集の周知（8 月、2 月）

会員の入会・退会状況

年度	入会者数	退会者数	年度末会員数
H30	26 人	20 人	222 人
R1	33 人	17 人	238 人
比較			16 人

(3) 安全・適正就業の推進

① 安全就業の推進

安全・適正就業委員会を中心に、次の活動を実施しました。しかし、今年度は、傷害事故 6 件、損害事故 6 件と計 12 件の事故が発生するという残念な状況となりました。特に、草刈作業中の刈払機による石飛散の破損事故が多発しました。今後、安全対策講習会の実施などの更なる安全対策を講じていきます。

また、3 月に計画していた「交通安全ゆとり号」による運転者適性診断については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止としました。今後、県内にも感染拡大が懸念されますので、会員へ感染対策の注意喚起に努めてまいります。

- 「就業現場巡回パトロール」の実施（8 月、12 月）
- 安全就業の意識高揚を図るため、「安全標語」の募集（7 月）
- 会員、役職員の「安全研修会」への参加（8 月、10 月）
- 「安全就業たより」の発行（年 5 回）
- 「機械器具の安全点検と整理整頓」の実施（3 月）
- 会員の「健康診断受診」及び「自家用車任意保険加入」の勧奨

② 適正就業の推進

全ての就業の前提となる「適正就業ガイドライン」を遵守し、「共働・共助」というシルバー理念のもと、「グループ就業」と「ローテーション就業」の推進に取り組みました。

(4) 普及啓発と地域貢献

① 普及啓発

シルバー人材センターの目的や事業内容を町民に広く周知し、センターのイメージアップを図るため、次の活動を行いました。

- 広報「シルバー河北」の発行（年 2 回）
- 町広報誌にセンター情報記事の掲載
- 「普及用リーフレット」と「会員募集チラシ」の全戸配布（4 月、8 月）
- イベント会場で普及啓発活動の実施（10 月）
- ホームページの活用

② 地域貢献

シルバー人材センターは、地域社会の福祉と活性化に寄与することも大きな目的となっており、福祉・奉仕の精神をもって、次の奉仕活動を実施しました。

奉仕活動内容	活動会員	参加人数
ひな祭り会場の清掃 4月	谷地地区会員	34人
荒町東公園の除草、清掃 7月	谷地南部地区会員	14人
どんがまつり会場の除草、清掃 9月	全会員	105人
北谷地小学校農園の除草 9月	北谷地地区会員	14人
西里改善センターの除草、清掃 10月	西里・元泉地区会員	23人

※紅花資料館の除雪、谷地中央通り交差点の除雪は、少雪のため中止となりました。

(5) 講習会及び研修会の開催

会員が就業上必要な技能や知識を取得できるよう、さらに後継者育成にも繋がるよう、町内一般高齢者も含めた次の講習会を開催しました。また、会員のスキルアップを目指すため次の会員研修会を実施しました。

《講習会状況》

◎山形県高年齢者就労活性化事業（当センター主催）

開催日	講習内容	受講人数
5月20日	第1回刈払機取扱講習会	24人
7月10日	第2回刈払機取扱講習会	7人
11月8日	雪囲い講習会	19人
11月12～14日 12月10～12日	毛筆筆耕講習会	18人
2月20～21日	障子・襖張り替え講習会	27人

◎高齢者活躍人材確保育成事業（県連合会と共同開催）

開催日	講習内容	受講人数
8月22～23日	学童保育補助スタッフ講習	5人
8月27～30日	庭木手入れ講習	1人
9月19日	生活支援スタッフ講習	2人
10月29～31日	介護援助スタッフ講習	1人

◎その他講習（県連合会主催）

開催日	講習内容	受講人数
10月29日	接遇・マナー講習	14人
1月22日	安全就業対策推進事業「健康安全講習」	2人

《研修会状況》

開催日	研修内容	受講人数
9月26日、2月18日	新会員研修会	31人

※3月に計画した会員研修会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止としました。

(6) 女性会員事業の推進

女性会員相互の親睦の輪を広げ、就業にも趣味にも楽しく活動できるように、軽スポーツ大会・健康教室・親睦会を行いました。また、2月に町内大型スーパー3店舗で「会員募集チラシ」を配布し、女性会員の拡大に努めました。

(7) 組織体制の充実・強化

「自主・自立」というシルバー人材センターの理念のもと、理事会をはじめとする各組織が、活力あるセンター運営に努めました。

- 「理事会」は、県連合会主催の理事・監事研修に参加するとともに、先進地視察研修を実施し、組織の充実・強化を図りました。
- 「専門委員会」は、研修会等に参加し、積極的に事業を展開しました。
- 「事務局」は、職員の能力向上を図るため各種研修会に積極的に参加し、センター事務に努めました。